

令和 5 年12月8日
第3回検討委員会

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画 策定検討委員会

p1 実施計画書 目次案

p2 第 2 回検討委員会議事内容の確認

p3～ まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告

目 次（案）

【序章】

はじめに

【第1章】

- 1. 吾妻公園の概要
- 2. 計画の経緯
- 3. 上位計画・関連計画について
- 4. 吾妻公園の現状と課題
- 5. コンセプト
- 6. 吾妻公園全体の整備方針
 - 6-1 公園全体の整備方針
 - 6-2 公園全体の整備イメージ
 - ・全体計画平面図
 - ・全体鳥瞰パース（2 枚）
- 7. 文化芸術施設整備の方針
 - 7-1 文化芸術施設の配置の考え方
 - 7-2 文化芸術施設構成の方針
 - 7-3 文化芸術施設の平面計画
- 8. 公園施設整備の方針
 - 8-1 公園内施設、機能の方針
- 9. 動線計画
 - （1）歩行者
 - （2）駐車場
 - （3）周辺道路、交差点処理
 - （4）バス

【第2章】

- 1. 事業手順、事業手法について
- 2. 概算事業費の検討
- 3. 概算事業費の枠組み

【第3章】

- 1. 事業化スケジュールの検討
- 2. 今後の課題、必要となる手続き等の整理

巻末資料

- 参考資料 パブリックコメント
- 参考資料 住民説明会
- 参考資料 実施計画策定検討委員会
- 参考資料 デザイン部会
- 参考資料 Park-PFI を含む収益施設整備事業者等へのプレヒアリング
- 参考資料 防衛補助事業関連

第2回委員会議事内容の確認

■第2回委員会 令和5年9月4日開催

【第2回委員会における主な意見内容と対応方針案】

項目	主な意見内容	対応方針案
防災／盛土	・防災には津波や浸水など様々なシチュエーションがあるが、浸水に対しては浸水深予測3mに対して、建物1階部分の利用の工夫や各エリアの優先度等をふまえた検討が必要。	・建物1階部分は、エントランスロビー以外は駐車場、荷捌き場、ピロティなど浸水に対してリスクの小さい機能の利用を基本とする。 ・災害時の避難場所となるホールの観客席、舞台は2階レベル以上とする。
	・施設の断面図があるが、基本計画では施設を全面盛土するのにに対してホール部分が1階からになっており、避難所としての機能が薄れる。なるべく盛土をしてほしい。	
	・津波に対しては、建物への早急な避難や、盛土の高台エリアへの上りやすさが重要となり、そういったところへの外構的配慮が重要。	・盛土上および建物のエントランスにアクセスしやすい機能配置とする。
文化芸術施設	・このホールはフライタワーがいるような本格的なものが必要か。あまり利用されない機能を設けるとランニングにも響くため、想定される興行も含めて、身の丈にあった施設にしたほうがよいのではないか。	・現状、700席程度の多目的ホールにおいて、フライタワーをもたずに対応している事例はある。また、周辺住宅への圧迫感なども考慮し、本計画ではフライタワーなしでも対応可能と考える。
	・文化芸術施設内にも、幼児のためのスペースが共有部などにあればよい。	・施設内に幼児のためのスペースを作ることは可能。どこに配置するかを含め、今後の検討とする。
交通公園	・単に交通ルールを学ぶ場としてだけでなく、幼稚園生から低学年生なども普段から遊べる公園として整備してもよいのではないか。	・交通公園は約3000m2を常設として整備することを想定する。遊具広場などと連続した子供活発に遊べる公園空間とする。p16で説明。
駐車場	・基本計画段階での駐車場必要台数570台というのは多すぎないか。算出方法で君津市文化ホールの事例を適用しているが、このホールは君津駅から4.2kmとかなり離れており、木更津と立地条件が異なる。	・駐車場必要台数の算出方法を見直し、約410台とする。 ・これに伴い、交通公園は臨時駐車場とせず、多目的広場のみを臨時駐車場としてを利用する方針とする。P20で説明。
	・吾妻公園は木更津駅から約1kmだが、その間の富士見通りなど公園周辺地域の歩きまわりやすさや、循環バスの運用など含めて包括的に考える必要がある。	
	・交通公園を臨時駐車場として利用するのはもったいないと感じる。	
既存樹木	・広場などを作ると、木陰がなくなりがちなので、木陰に休めるような空間づくりも大事にしていきたい。	・公園内のクロマツ群や既存樹木を可能限りいかした広場空間を提案していく。
管理運営	・文化芸術施設の管理運営は外部委託か。図書館・公民館・ホールの事務室の取り扱いはどうなるのか。	・公民館、図書館の運営主体が決まるのは令和6年度になる見込み。 ・複合化するということもふまえて、共用部など共有できるところは共有していく方針で検討する。 p9～10で説明。

まちづくり実施計画（吾妻公園）中間報告

1章

- ・ 計画に伴う前提条件
- ・ 広場の考え方と文化芸術施設のつながり
- ・ 文化芸術施設の施設構成（案）

2章 公園計画（案）

- ・ 公園全体の機能と規模
- ・ 平面計画
- ・ 防災の方針
- ・ 駐車場のあり方について
- ・ 動線計画

参考資料（第2回委員会資料より）

- ・ 吾妻公園の位置づけ／吾妻公園の周辺状況
- ・ 吾妻公園の現況
- ・ ビジョン、コンセプト

1章

- 計画に伴う前提条件
 - 必要諸室及び面積（案）
 - メインエントランスのレベル設定と盛土の役割
- 広場の考え方と文化芸術施設とのつながり
- 文化芸術施設の施設構成（案）

計画に伴う前提条件

・必要諸室及び面積（案）

大分類	小分類	想定面積	備考
ホール	小計	2,500	
	客席関係（席数700席程度（可動式））、親子室、車椅子席など）	2,500	
	舞台及び舞台裏（舞台、備品庫、搬入ヤードなど）		
	技術諸室（調光操作室、音響調整室など）		
	楽屋関係（楽屋、スタッフ控室、楽屋用便所、備品庫など）		
図書館	小計	2,400	
	一般開架エリア（カウンター、一般資料、逐次刊行物、閲覧関含む）	800	
	ティーンズエリア	100	
	児童エリア（カウンター、児童閲覧席含む）	190	
	おはなしの部屋（児童エリア隣接）	40	
	郷土資料室	320	
	デジタルライブラリー	40	
	作業室	60	
	点訳・音訳資料作成室・対面朗読室	40	
	閉架書庫（電動書庫、保管庫）	710	
	その他（事務室・館長室他）	100	
中央 公民館	小計	1,000	
	スタジオ（収容人数200人程度、リハーサルのほか会議利用も想定）	300	
	スタジオ関連諸室	60	
	事務室	75	
	会議室エリア	530	和室、調理室（各1室）含む
	倉庫他	35	
共用部	小計	2,400	
	エントランスロビー	1,400	
	ホワイエ		
	市民交流スペース、こども・親子スペース等		
	施設全体で来館者がくつろぐスペース		
	展示スペース		自衛隊関連展示
	カフェスペース		
	エレベーター、トイレ等		
	機械室等	1,000	
合計		8,300	

計画に伴う前提条件

- ・ **メインエントランスのレベル設定と盛土の役割**

1) メインエントランスのレベル設定

- ・ ホールの配置について、有事の際の避難所と位置付けているため2階以上に配置する。
- ・ ホールのメインホワイエが2階に配置となるため、メインエントランスも2階に配置する。
- ・ バリアフリー等にも配慮し、サブエントランスを1階に配置する。

2) 盛土の役割

- ・ 盛土の役割は、津波時の一時的な避難場所とする。
(避難対象：公園利用者（建物外）、周辺住民)

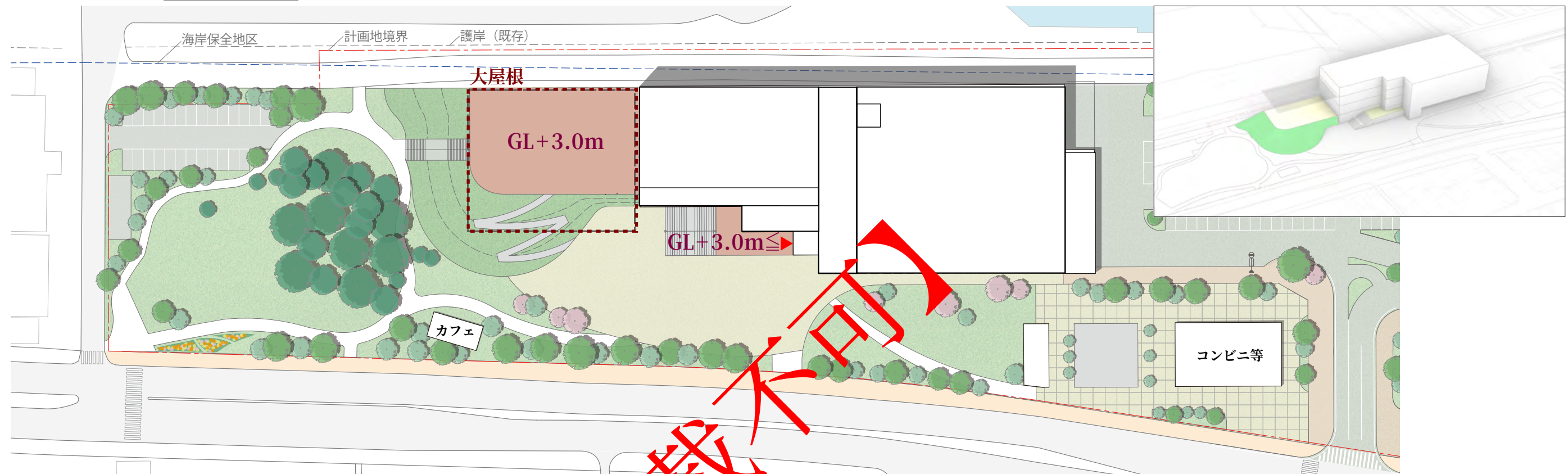
広場の考え方と文化芸術施設とのつながり

全体配置イメージ

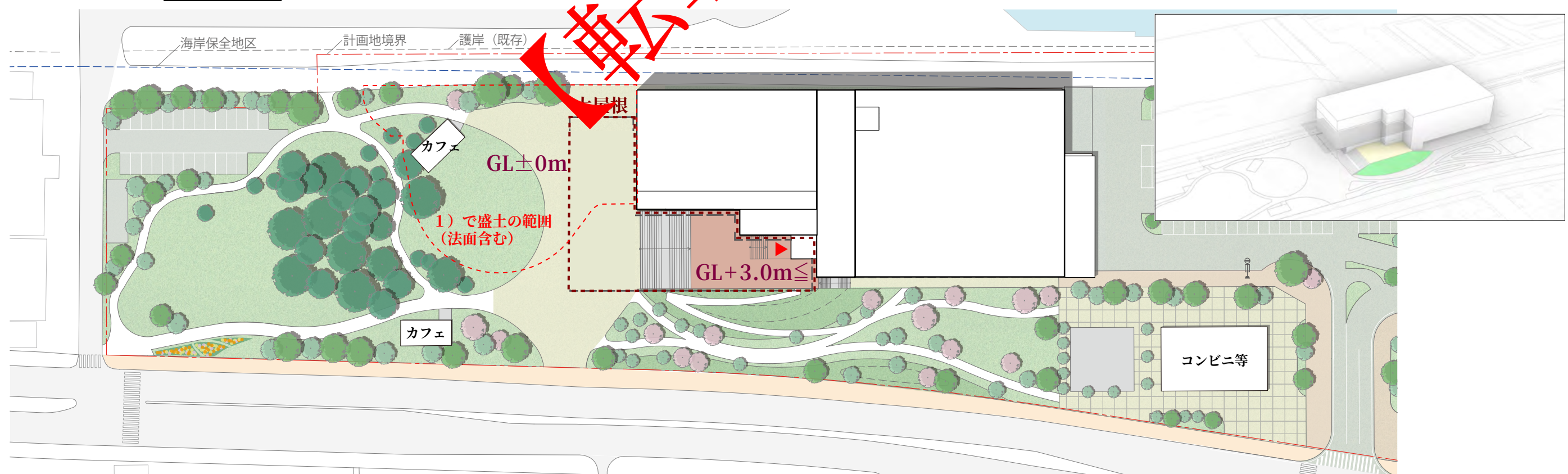


広場の考え方と文化芸術施設とのつながり

1) 大屋根広場を盛土レベルとする



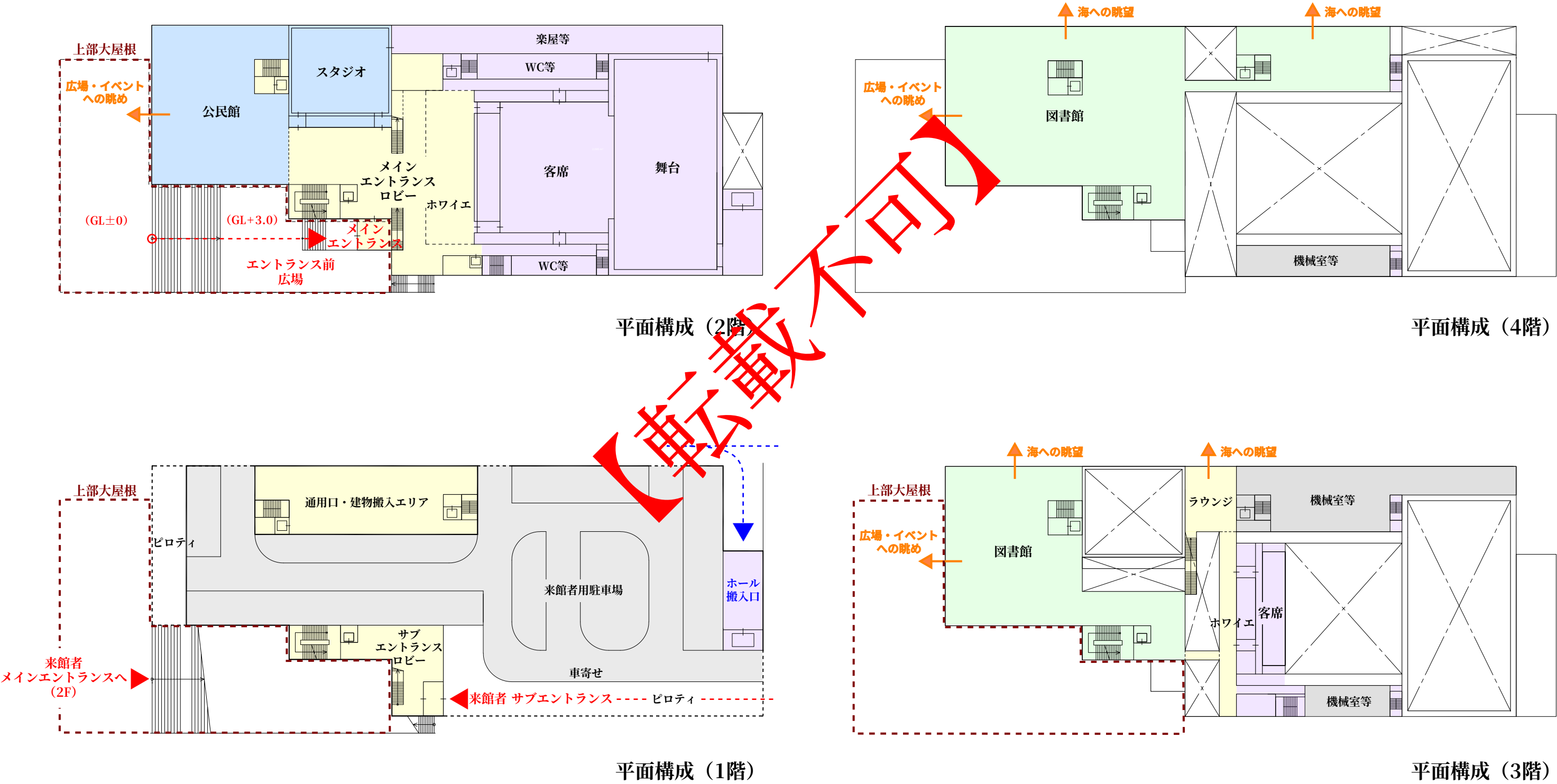
2) 大屋根広場をGLレベルとする



再検討

文化芸術施設の施設構成（案）

平面構成（案）

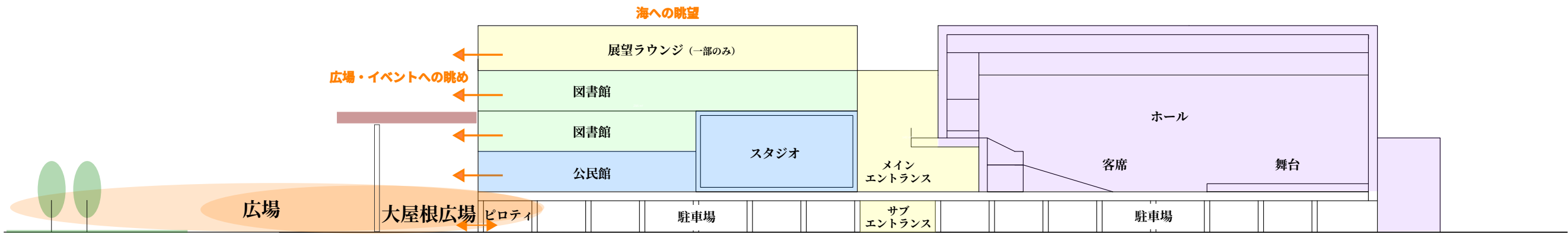


文化芸術施設の施設構成（案）

配置イメージ及び断面構成（案）



配置イメージ



断面構成

2章 公園計画案

- ・ 公園全体の機能と規模
- ・ 平面計画案
- ・ 災害時の活用案
- ・ 駐車場のあり方について
- ・ 動線計画案

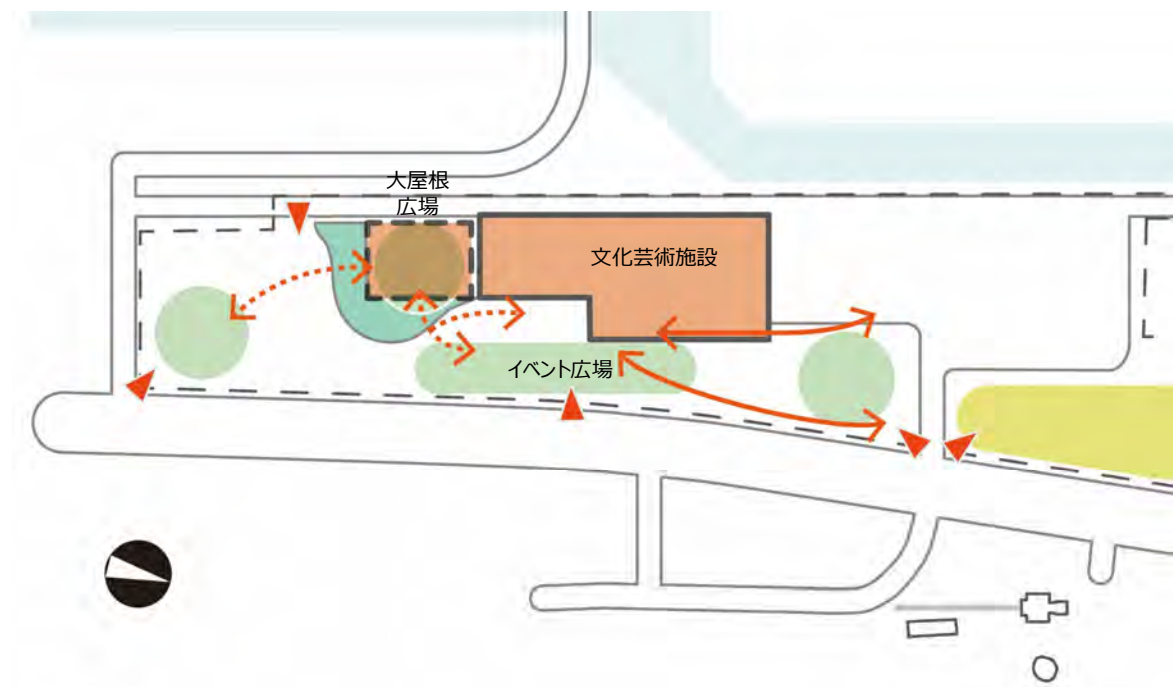
公園全体の機能と規模（案）

赤字：第二回委員会からの追加、みなおし

項 目		基本構想・計画	実施計画での検討方針	備 考
①	文化芸術複合施設 （ホール、図書館、公民館）	延床面積8,300㎡、階数 4 F ホール700席程度	延床面積8300m2に加えて1Fを駐車場 利用することを想定し詳細を検討 （第1章参照）	建築面積： ① + ③a ≤ 公園用地面積の最大12%
②	大屋根広場	面積1350㎡ 3mの盛土広場上に設置	屋根下利活用方針に基づき、適切な範囲 を設定 面積約1350m2を想定	② ≤ 公園用地面積の10%
③	屋外広場	約9,000㎡ 民活用地含む	広場面積を多く確保できる計画とする	
③a	民間活力導入	レストラン、マルシェ、コンビニ等を想定 面積未定	ヒアリング結果に基づき設定 （第三回委員会後に実施を予定）	建築面積： ① + ③a ≤ 公園用地面積の最大12%
③b	ドッグラン、キッズバイク	約500㎡	ドッグランは民活を基本とし、を約500m 2 程度確保 キッズバイクは芝生広場内で仮設で確保	
⑥	交通公園	約1500㎡	現状で主に利用されているのと同規模のもの として約3000m2とする	
⑦	駐車場	駐車台数 約570台、面積 約23900㎡	約410台を確保 施設 1 F部分での利用も想定 バス等利用も考慮した見直しを図る	
⑧	その他		公園西側通路は現状通り	

平面計画案

案1
いくつかの広場をなだらかな芝生斜面でつなげる案
(大屋根広場を盛土レベルとする)



案2
広々とした南の公園空間と文化芸術施設を
大階段と大屋根でつなげる案
(大屋根広場をGLレベルとする)



ポイント	・文化芸術施設東側の開放性や賑わい空間を重視 ・大屋根下に、全天候型のイベント利用を想定した広場の配置 ・緩い勾配の緑化斜面により、公園内の各広場をなだらかな起伏でつなげる	・敷地南側の公園空間の賑わいや開放性と文化芸術施設とのつながりを重視 ・施設南側の大屋根下やピロティにキッチンカー利用等も想定し、芝生広場と施設とが一体となった大きなイベント広場を配置
主なイベント広場の想定	施設東側（グラウンドレベル） 大屋根下（GL+3m盛土上）	施設南側（グラウンドレベル、一部大屋根下）
盛土(GL+3.0m)の配置	施設南側の大屋根広場	施設メインエントランス前

平面計画案：案1

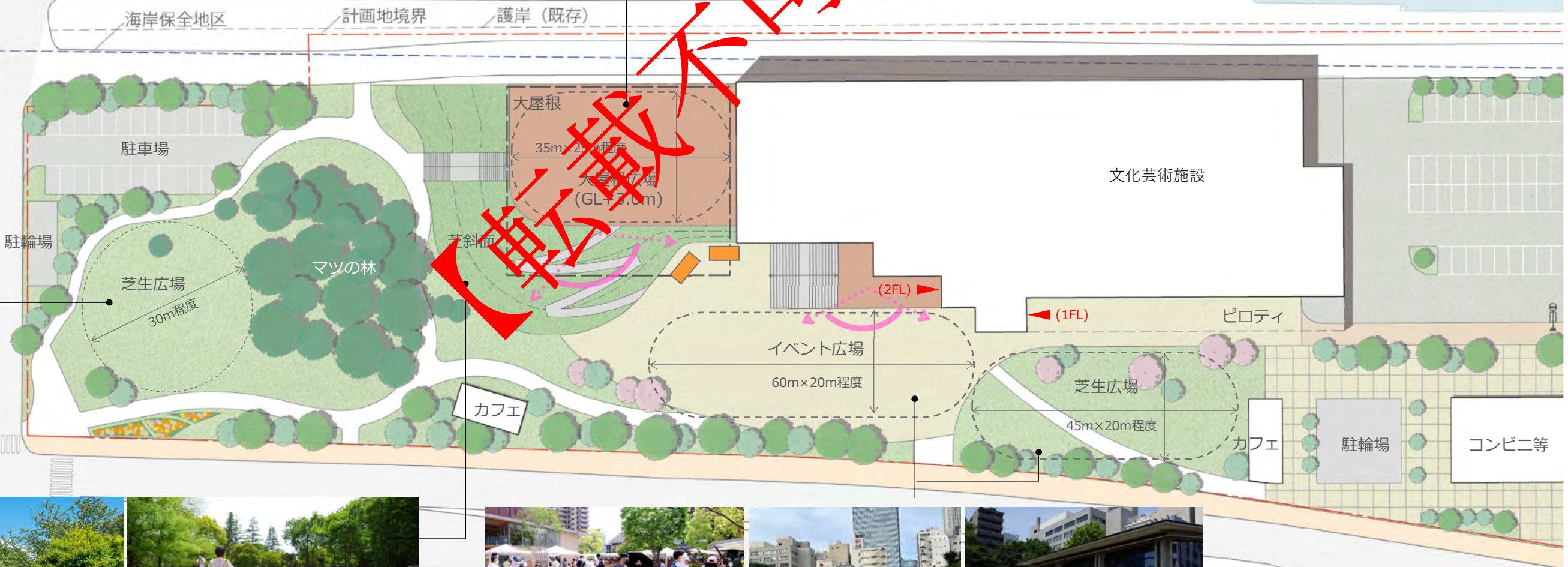
いくつかの広場をなだらかな芝生斜面でつなげる案
(大屋根広場を盛土レベルとする)



大屋根広場下で全天候型で様々な活動を楽しむ
左：<https://www.gakugei.ed.jp/topics/detail/1301>
右：<https://1000enpark.com/park/01597/>



芝生広場やマツの林では、
緑を感じながら各々の目的
で自由にゆっくり滞在する



芝の緩斜面で公園内の各居場所やアクティビティが緩くつながる
右：<https://www.hoosiers.co.jp/kurashizukuri/project/01/>
左：<https://www.ariwrks.com/pocket>



施設エントランス前で、大小さまざまなイベントを開催
通常時はベンチや芝生の上などで自由に過ごす



平面計画案：案2

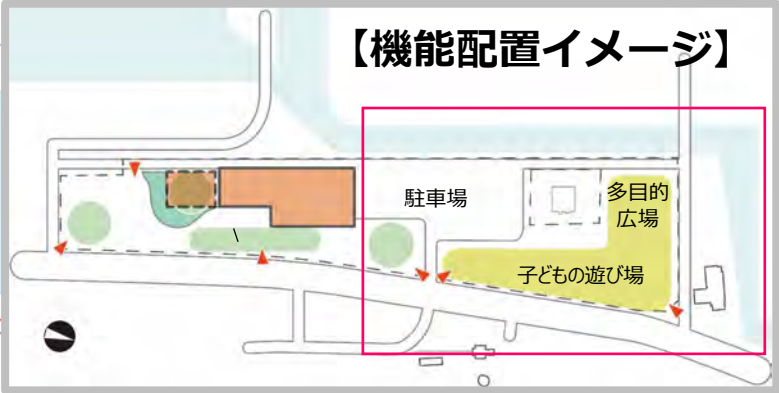
広々とした南の公園空間と文化芸術施設を
大階段と大屋根でつなげる案
(大屋根広場をGLレベルとする)



平面計画案：公園北側

子供が活発に多目的に遊べる公園広場

- 公園北側は、おもに子供たちが活発に多目的に遊べる公園広場を配置。
- 交通公園は、現在と同様に**未就学児や小学生を対象に、交通安全ルールや自転車ルールを学ぶ場**としての利用を想定し、**約3000m2を確保**。
- 近隣および遠方からの利用を想定し、駐車場に近い位置にドッグランを配置。



ソフトなボール遊びやイベントなど多目的に利用可能な広場

出張店舗（可動式）、通行ゾーン、駐車、アクティビティスペースが混在し様々な状況に対応可能な場（Path）出張店舗例



チャレンジショップ 移動式図書館

吾妻保育園



交通公園内外に遊具エリアを設け、北側エリア一体を、子供のための広場として利用

可動式店舗
交通公園の出入り口



平面計画案：案1_全体配置イメージ

いくつかの広場をなだらかな芝生斜面でつなげる案
(大屋根広場を盛土レベルとする)



番号	施設名	番号	施設名	番号	施設名
①	文化芸術施設	⑦	民生活を想定するカフェ等	⑬	ボール遊びのできる多目的広場
②	2Fエントランス	⑧	公園のメインエントランス	⑭	屋外トイレ
③	イベント広場	⑨	交通公園	⑮	駐車場
④	大屋根広場	⑩	子どもの遊び場広場	⑯	駐輪場
⑤	クロマツのある芝生広場	⑪	ドッグラン	⑰	バス停留所
⑥	芝生斜面	⑫	多目的な歩車共存のPATH		

平面計画案：案2_全体配置イメージ

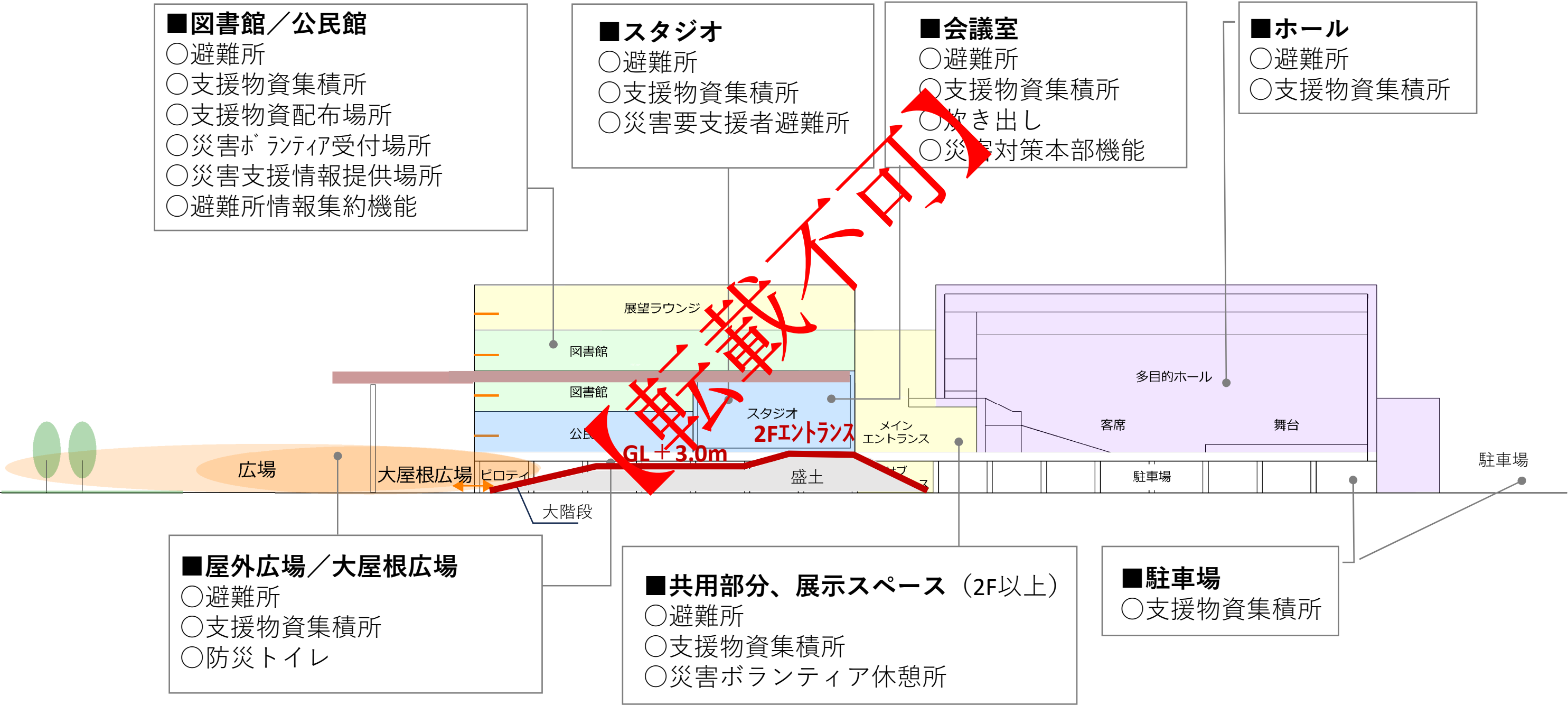
広々とした南の公園と文化芸術施設を
大階段と大屋根でつなげる案
(大屋根広場をGLレベルとする)



番号	施設名	番号	施設名	番号	施設名
①	文化芸術施設	⑦	民生活を想定するカフェ等	⑬	ボール遊びのできる多目的広場
②	大階段とエントランス	⑧	公園のメインエントランス	⑭	屋外トイレ
③	イベント広場	⑨	交通公園	⑮	駐車場
④	大屋根	⑩	子どもの遊び場広場	⑯	駐輪場
⑤	クロマツのある芝生広場	⑪	ドッグラン	⑰	バス停留所
⑥	園路	⑫	多目的な歩車共存のPATH		

災害時の活用案

津波や浸水時のリスクを想定し、避難所などの主要防災機能は盛土＋3.0m以上、および建物内2F以上で確保します。



駐車場のあり方について

多目的グラウンドを臨時駐車場としても活用し、 駐車場の必要規模を確保します

- ・駐車場の必要規模は約**410台**と設定（一部、文化芸術施設1階も利用）
- ・常設の駐車場として、文化ホールの公演等が行われない時の必要台数相当を文化芸術施設に隣接して整備
- ・各施設の利用のピークが重なった場合はと多目的広場を臨時駐車場として利用
- ・その他に、イベント時には、内港北公園（県）（約30台）も利用可能

■多目的広場の利用

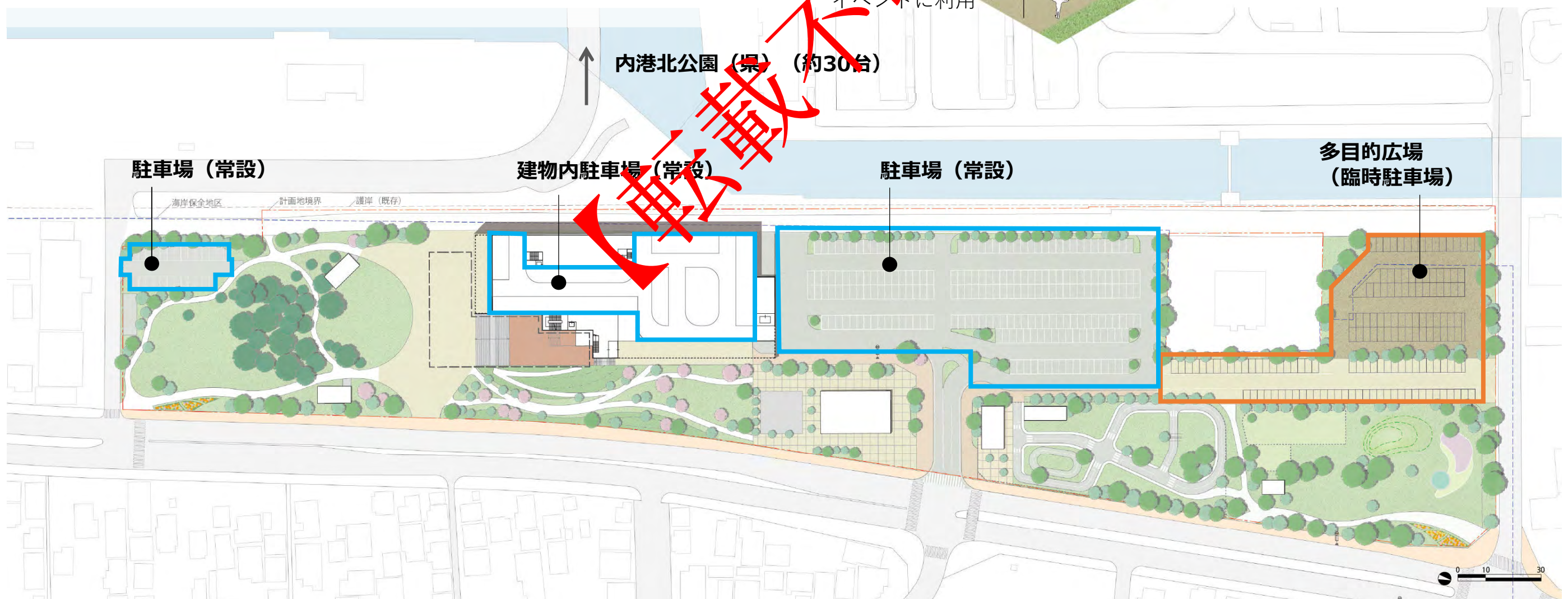
【通常時】

スポーツに利用

イベントに利用

【各施設の利用のピークが重なった場合】

臨時駐車場として利用



動線計画案

①歩行者、自転車

- ・中心市街地、木更津駅、バス停からの歩行者動線を優先して確保する。
- ・南側と中央、および北側の自転車動線の近くに駐輪場を配置する。

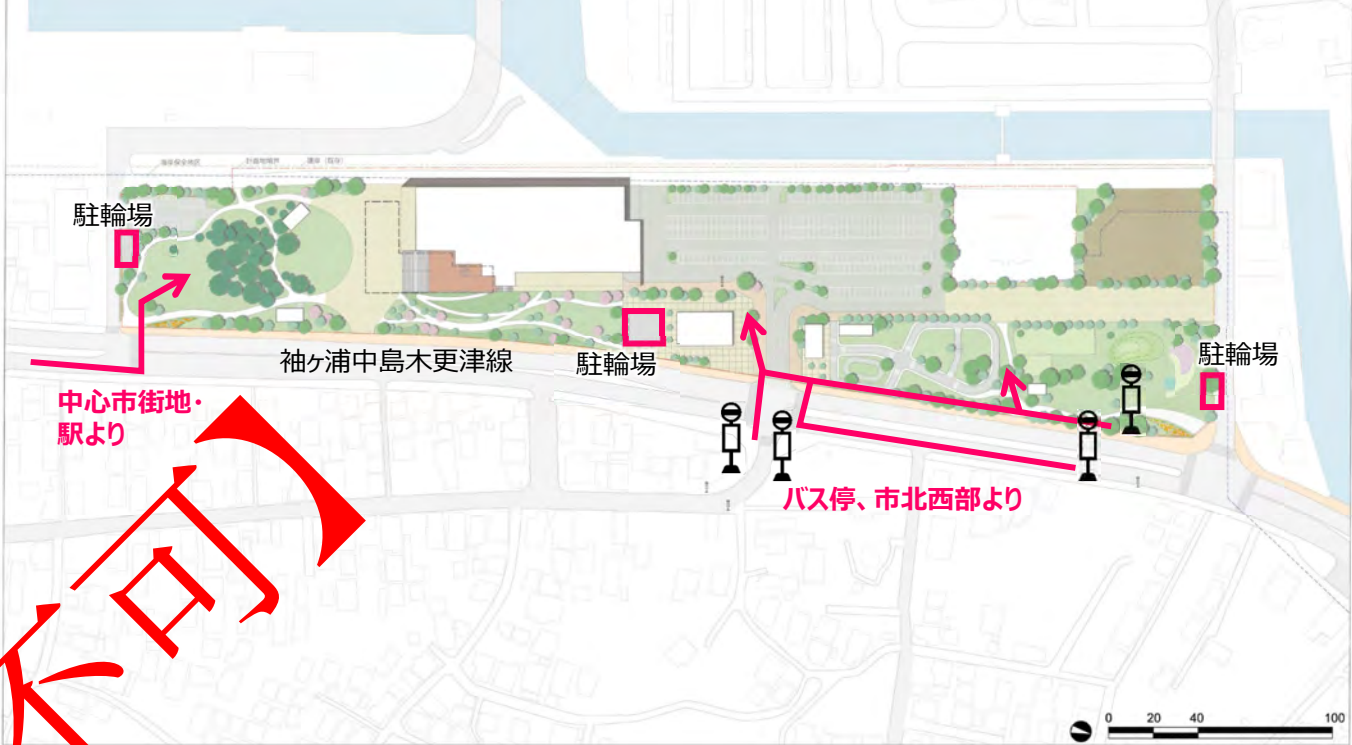
②自家用車

- ・中央部の交差点に駐車場への入出庫動線を確保する。
- ・金田方面から右折で入庫する車両に対し、袖ヶ浦中島木更津線に右折車線を設置する（今後協議）。
- ・今後設計段階において、交通処理の検証にもとづきイベント時には北側の交差点からも出庫動線を確保することを検討する。

③送迎バス、巡回バス

- ・駐車場内にバスの乗降場、待機場を配置し、中央の交差点から出入する。
- ・自家用車と同様に、イベント時に北側の交差点を利用することを今後検討する。

①歩行者、自転車



②自家用車



③送迎バス、巡回バス



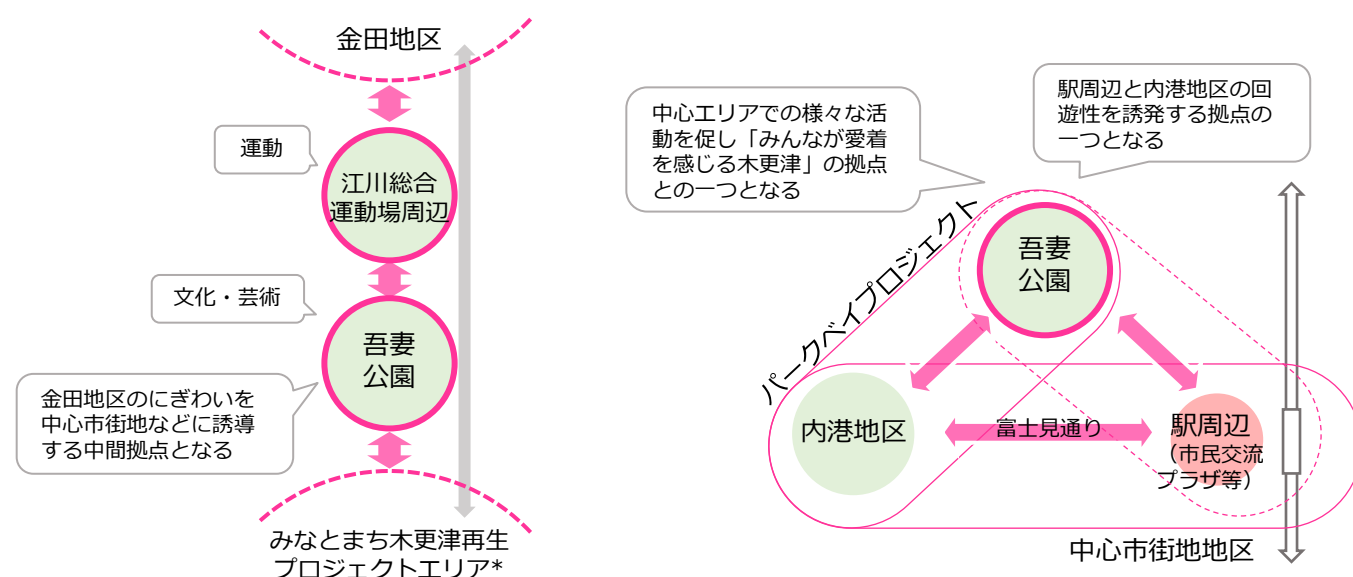
参考

- ・ 吾妻公園の位置づけ、周辺状況
- ・ 吾妻公園の現況
- ・ ビジョン、コンセプト

吾妻公園の位置づけ

- 「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速し、金田地区のにぎわいを、木更津駅周辺地区、内港地区、築地地区に誘導する上での重要な中間拠点の一つ
- 金田地区および中心市街地区双方からアクセスしやすく、市内の広域的な回遊性を誘発しやすい立地
- 「木更津らしさ」を象徴する中心市街地、海、木更津飛行場のエリアに近接
- 恵まれた公園敷地規模

【基本構想のまちづくりの考え方】



*みなとを活かしたまちづくりとして、駅周辺地区・内港地区・築地地区の3つの地区をみなとまち木更津の核となる2つのゾーン（都心居住ゾーン、広域交流ゾーン）に位置づけ、各地区の特性を活かした魅力的なまちなみを形成する新たな都市拠点の創出を目指すもの。

⇒ 吾妻公園は、地元で愛されながら様々な市民活動を促し、地域の活性化を誘発させるポテンシャルをもつ場

吾妻公園の周辺状況



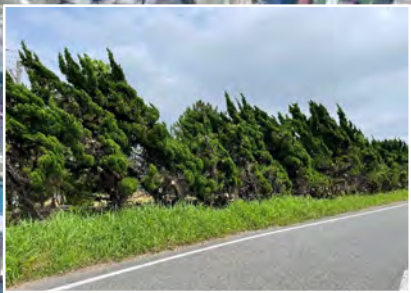
吾妻公園の現況



吾妻臨港橋からの眺望



陸閘ゲート



護岸沿い防風林(カイヅカイブキ)



園内のクロマツ群



園内敷地沿い植栽と県道歩道



園内広場



交通公園

●計画地の諸元

敷地面積	41,200m2
都市計画区域	都市計画区域内（市街化区域）
用途地域	第1種住居地域
その他	都市機能誘導区域外、居住誘導区域外
建ぺい率	60%
容積率	200%
高さ制限	第二種高度地域
津波浸水深	1.0m以上3.0m未満



護岸と自衛隊官舎（5階程度）



護岸(嵩上げの計画)



遊具エリア



ビジョン、コンセプト

■パーク・ハイ・レジ外における吾妻公園の位置づけ
「ウェルネス（健康・運動）」

■基本構想段階での方針
「文化芸術活動等機能を中心とした
世代間交流の拠点となる施設づくり」

■基本計画での施設づくりの方針

3-2. 施設づくりの方針



○施設づくりの方針

■敷地面積を活かした文化芸術活動や生涯学習の交流拠点づくり

- ・多世代が気軽に集い、学び、交流できる施設として、「木更津市中規模ホール整備基本計画（令和2年6月策定）」で示す新たなホールの方向性を踏まえ、図書館、中央公民館等の公共機能も複合した文化芸術施設を整備します。

■災害時に対応できる施設づくり

- ・災害時に周辺住民の避難所機能等の機能を整備します。

■市民と自衛隊員が交流できる施設づくり

- ・基地に関連する物品等の展示など、基地の役割の理解促進を図る機能を整備し、連携の強化を図ります。

■公園としての再整備

- ・公園として、緑豊かな環境で屋外でも活動できる場や、雨天時でも活動できる大屋根広場を整備します。あわせて、公募設置管理制度（Park-PFI）等を活用し、民間事業者による収益施設の整備も検討します。

様々な居場所や文化芸術活動とともに 市民の愛着を育める公園

多様な「日常的居場所」や「文化芸術活動のステージ」をもうけ、みなとまち木更津を感じられ、皆が愛着を育める公園をめざします。

お年寄りから子供まで、お互いが様々な目的で集まり、**おもいがけない「交流のきっかけ」や「出会い」の場**がうまれます。そのきっかけづくりをちりばめた計画を目指します。

